

# アスルクラロ沼津 活動指針表明 ホームスタジアム 照明改修プロジェクト



2022

AZUL CLARO



# Present Conditions

～岐路～

クラブが直面する大きな問題①

# スタジアム問題

Jリーグクラブライセンス喪失危機

# ■ 愛鷹スタジアム問題

- 愛鷹競技場ではJ2基準「座席全面を覆う屋根」は現実的ではない
- J2ライセンス取得には、「クラブによる新スタジアムを作る約束」と引き換えに暫定的にJ2ライセンスを取得できる「例外規定2」を使うしかない
- 例外規定2を適用すると、観客席・映像装置・屋根の改修は免除されるが、照明・諸室・トイレの改修は必須

J2ライセンス取得 愛鷹改修項目	
①観客席	5,000席→8,000席以上
②映像装置	電光掲示板→大型映像装置 (県が実施予定)
③屋根	全ての観客席を覆う屋根
④照明	500ルクス→1,500ルクス以上
⑤諸室	ドーピングコントロール室・審判更衣室・医務室等の整備
⑥トイレ	トイレ洋式化・増設(県が実施済)

ただし  
照明基準はJ3ライセンスであって  
も期限がある

2023シーズン  
開始までの整備

# ■ スタジアム問題 J3照明要件—ライセンス喪失危機



**【2023シーズン開始前までに1,500ルクスの照明を備える】**



**2022年6月時点で愛鷹競技場の改修が確定している必要**



**クリアできなければ2023シーズン以降J3ライセンスは取得できない**



## ■ スタジアム問題 愛鷹競技場改修 取組状況

- 施設所有者である静岡県様のご協力、2017年以降の沼津市様の大規模な専門調査にて技術的課題は2021年秋、おおむねクリアしたところ
- Jリーグの照明基準1,500ルクスは、愛鷹競技場の想定している必要照度をはるかに超える水準
- 興行上必要とする当クラブにて照明を改修し、完成後は静岡県へ譲渡(2022年1月21日受注者公募終了)  
※現在受注者については最終調整中

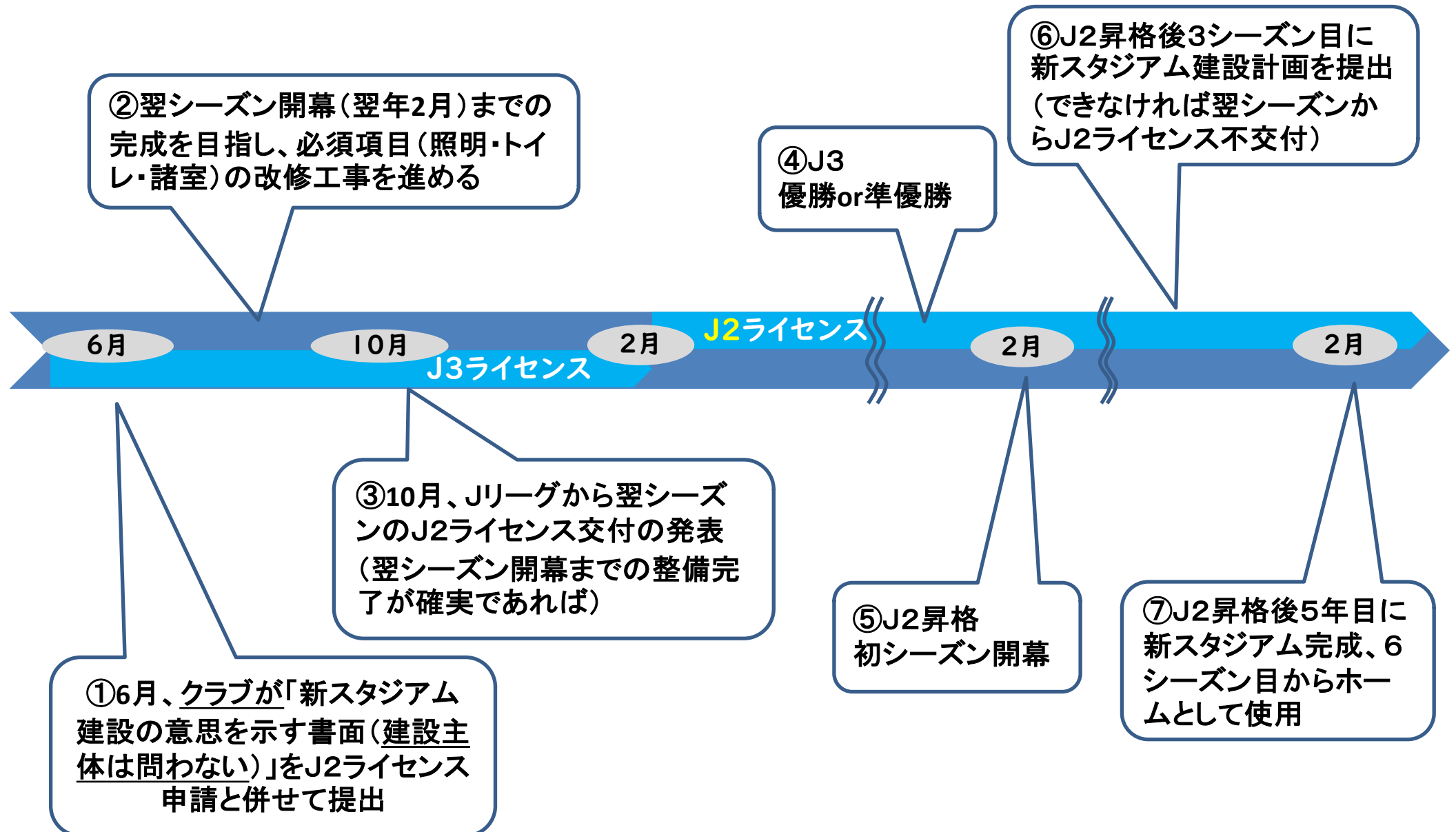
愛鷹照明改修費  
1億円以上

- ① 毎年6月末の翌シーズンライセンス申請時に「上位基準を満たすスタジアムの建設」をクラブがJリーグに約束(申請時に主体や場所は問われない)
- ② 照明・諸室を翌シーズンまでに改修
  - J2ライセンスが暫定的に交付される
  - J3・2位以上で昇格した後、3年以内の建設計画提出、5年以内に完成しなければJ2ライセンス喪失

# ■ スタジアム問題 J2ライセンスー例外規定2



## 例外規定2を適用したJ2ライセンス取得の流れ





# ■ 本プロジェクト開始時期の説明



## 改修に向けて立ちはだかった壁

- ① スタジアム自体の耐久性（建設から25年以上の建築物）  
照明設置に伴う荷重の検討  
屋根・既存照明塔の状態  
配線の状況
- ② 改修後の技術基準への適合性
- ③ 照度や均整度などの検討
- ◆ 各所との調整や相談、また改修に伴う実態調査などに多くの時間が必要だった



2021年秋、概ねの問題を解消し、  
技術的な面での改修見通しがたった

## クラブが直面する大きな問題②

# クラブの存続

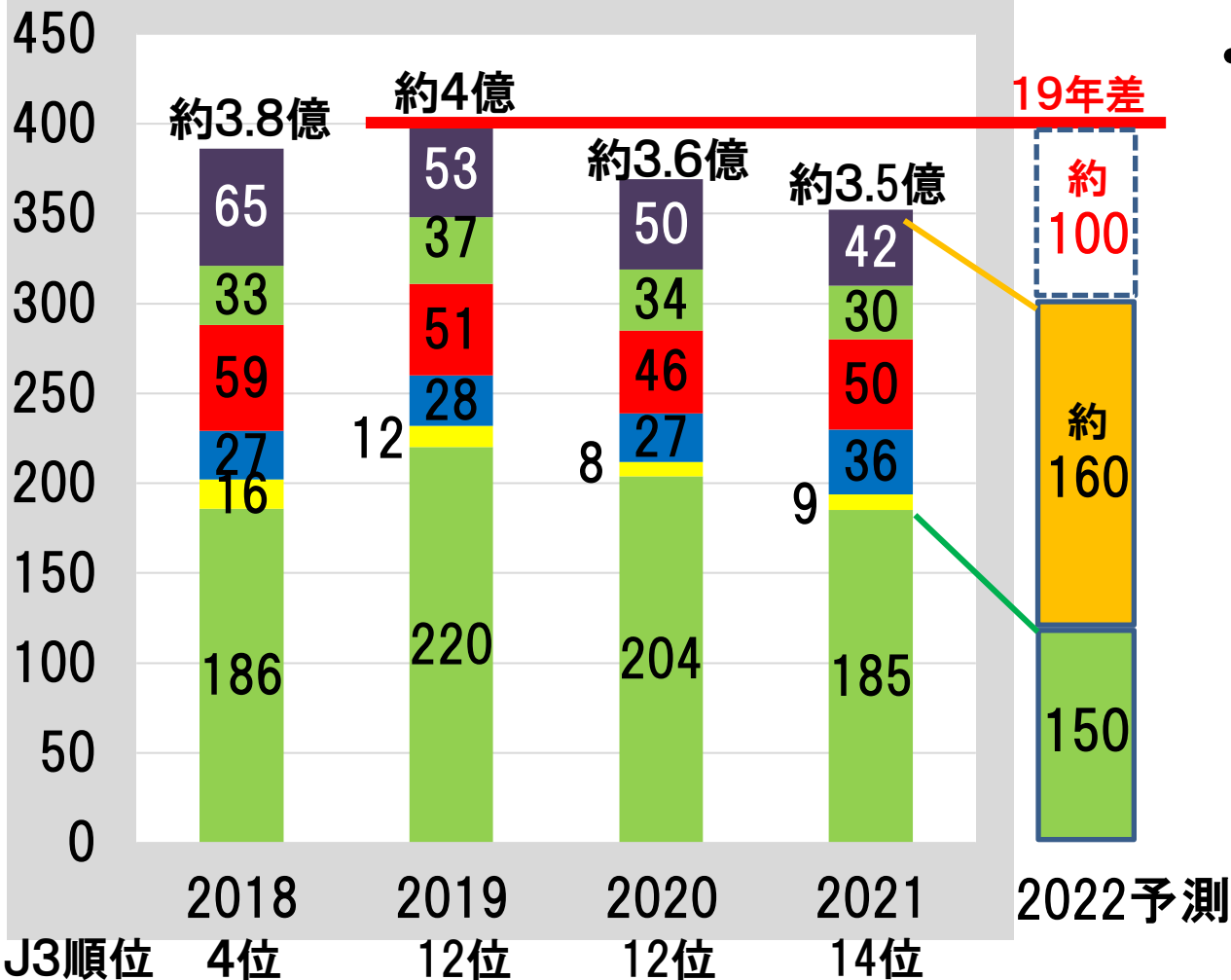
# ■ 事業収益の推移

コロナ禍で22年は現状予測19年比25%DOWN



クラブ売上高推移(単位:百万円)

- スポンサー
- Jリーグ分配金
- グッズ等物販
- 入場料
- アカデミー
- 施設貸出その他



- 20年、アカデミー収入大幅減、無観客試合・自粛影響で入場料収入減
- 22年、経況悪化によりスポンサー収入大幅減

## 2020年 他クラブ状況(参考)

【売上高】 当クラブ3億6千万円  
 J3全16クラブ平均 4億6千万円  
 J2全22クラブ平均 15億円

【チーム人件費】当クラブ1億3千万円  
 J3全16クラブ平均 1億8千万円  
 J2全22クラブ平均 7億3千万円



# Our Action

～クラブ存続のため～

## ■ Action 3つのアクション・ご支援メニュー

### 【個人・本社沼津市内企業向け】

#### ① クラウドファンディングの実施

- ・本日15:00より公開
- ・用途は愛鷹競技場照明改修費ほかトップチーム運営費

### 【本社沼津市以外の企業向け】

#### ② 沼津市企業版ふるさと納税としての寄付

- ・本社が沼津市外の企業のみ対象
- ・沼津市を通じたクラブ支援方法で、約3割から最大9割の税控除(各企業の財務状況による)

### 【個人・本社沼津市内企業向け】

#### ③ 寄付口座の開設

- ・リターン無しの寄付口座を開設

来年春までに  
1億円以上を集める

# Action① クラウドファンディング

## クラウドファンディング運営会社CAMPFIREにて実施 目標金額「3,000万円」

アスルクラロ沼津・J退会危機 存続をかけた大一番 #ホームスタジアム照明改修 🔒 限定公開

azul claro NUMAZU スポーツ 静岡県



¥ 現在の支援総額

0円

0%

目標金額は30,000,000円

👤 支援者数

0人

🕒 募集終了まで残り

60日

アスルクラロ沼津は現ホームスタジアムの照明を改修できなければ来年からJリーグライセンスが取得できずJリーグに在ることができなくなります。法人設立30周年を経た今、自ら競技場照明を改修し、次の30年に向けて新しいステージに挑戦します。あくまでも目指すはJ2以上、静岡県東部に必要とされる市民クラブです！

公開されたらメールでお知らせ

♡ お気に入り 0

## ■ Action② 沼津市企業版ふるさと納税

- 地方公共団体が行う地方創生事業への企業寄付を促進する目的で、平成28年に「地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)」が創設された
- 企業の決算・財務状況により、寄付金額の3割～最大9割の税控除
- 沼津市で企業版ふるさと納税の対象となるのは「沼津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲載されたもののみ
- 沼津市は今年度改定した「第2期総合戦略」に「アスルクラロ沼津ホームタウン推進事業」を掲載し、受入れ準備が整った

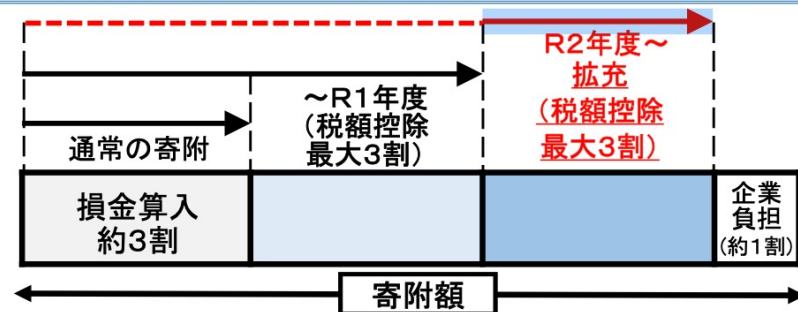
# Action② 沼津市企業版ふるさと納税

## 企業版ふるさと納税

地方公共団体が行う地方創生の取組に対する企業の寄附について法人関係税を税額控除

### 制度のポイント

- 企業が寄附しやすいよう、
    - ・損金算入による軽減効果に税額控除による軽減効果を上乗せ
    - ・寄附額の下限は10万円と低めに設定
  - 寄附企業への経済的な見返りは禁止
  - 寄附額は事業費の範囲内とすることが必要
- ※ 不交付団体である東京都、不交付団体で三大都市圏の既成市街地等に所在する市区町村は対象外。  
 ※ 本社が所在する地方公共団体への寄附は対象外。

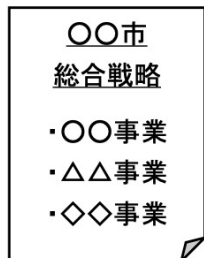


例) 1,000万円寄附すると、最大約900万円の法人関係税が軽減。

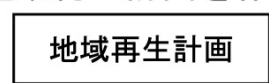
- ①法人住民税 寄附額の4割を税額控除。(法人住民税法人税割額の20%が上限)
- ②法人税 法人住民税で4割に達しない場合、その残額を税額控除。ただし、寄附額の1割を限度。(法人税額の5%が上限)
- ③法人事業税 寄附額の2割を税額控除。(法人事業税額の20%が上限)

### 活用の流れ

①地方公共団体が地方版総合戦略を策定



②①の地方版総合戦略を基に、地方公共団体が地域再生計画を作成



④寄附



⑤税額控除

企業が所在する自治体 (法人住民税・法人事業税)



国 (法人税)

◆ 地域再生計画の認定を受けた地方公共団体の数: 46道府県1,148市町村(令和3年度第1回認定後)



## ■ Action③ 寄付金口座の開設

本企画を実施するにあたり、多くのファン・サポーターの皆様、地域の皆様より支援についてのお問い合わせを受け、そのお声の中に「インターネットを使えない」「返礼などの見返りなど必要ない」「直接、寄付金を受け渡したい」など、非常にありがたいお言葉を頂戴いたしました。

皆様のお声をいただいたことで、本プロジェクト専用の寄付口座を開設する運びとなりました。

口座名：

「ホームスタジアム照明改修プロジェクト 会計 渡邊隆司」



愛されて勝つクラブとして

## 【理念】



アスルクラロはスポーツを通じて静岡県東部地域の  
人々の心身の健全育成と地域の発展に貢献すること、  
「全カアスル」に表されるように常に全力の姿勢で全て  
の目標に取り組み「地域との共生にアスルクラロの存  
在意義がある」ということを企業理念に掲げる

～クラブの理念は、明るく豊かな街づくりに寄与すること～

地域コミュニティの中核

スポーツや文化面での  
青少年・住民の健全育成

地域企業との連携

1977年に沼津アーセナルとして活動をスタート。1980年に沼津香陵クラブに改称し、2006年に静岡県リーグ1部への昇格を機に現在のチーム名となった。「アスルクラロ」はスペイン語で、クラブカラーの青(Azul)と明るい(Claro)という意味。チーム名の頭文字を配したエンブレムは、クラブカラーの水色で空を表し、紺色の帯で海を表現。白色の山型は沼津の頭文字「N」と富士山をイメージしている。富士山よりも高い日本一に、世界へのスポーツクラブを目指すというメッセージが込められている。

# Our History



1990年、サッカー教室から始まり  
2017年県東部唯一のJリーグクラブに

現在、スポンサー様等500社以上、  
スクール会員約1600名

サッカー、テニス、新体操、チア、陸  
上、フェンシング等スクールを展開す  
る「総合型地域スポーツクラブ」

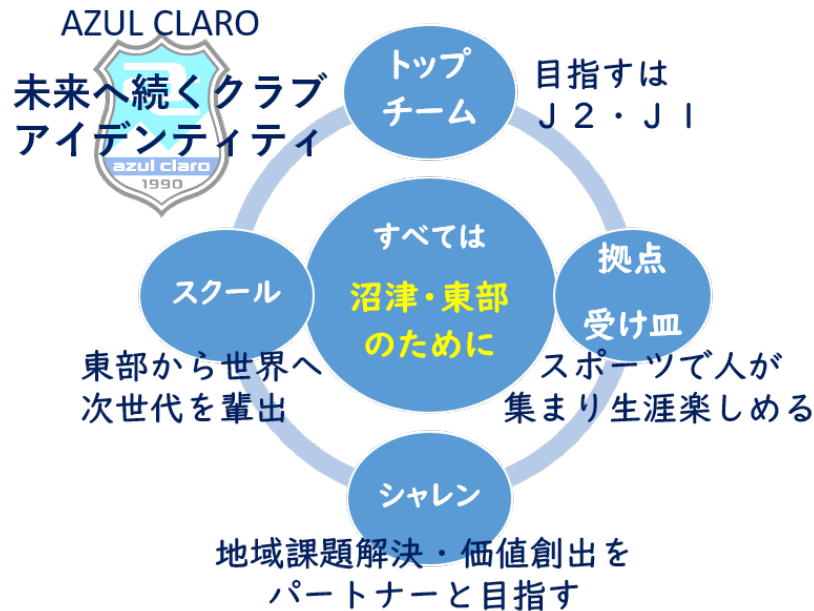
30年以上の活動で約2万人以上の  
スクール生等を輩出し、ご家族含め  
大きなネットワークに成長

みなさまのご家族・お友達にもアスル生が！  
関係方々のご協力があったからこそ「今」

# ■ Our Value to Society ~アスルの存在価値・成長ビジョン~



# Our Value to Society～アスルの存在価値・成長ビジョン～



## アスルのこれまで～今

- 1990年法人設立、2020年で30周年
- 「県東部から世界で活躍する子供を育てたい」
- 会員約1,600人、スポンサー等500社以上
- 「総合型地域スポーツクラブ」としてサッカー、テニス、チア、新体操、陸上、フェンシング等多数のスクール展開
- J3随一のホーム戦グルメエリア「アスルキッチン」

## 課題を打破

- スタジアム問題がクラブの未来を大きく左右する時期に
- 窮状を乗り越えまちの発展に欠かせない存在に

## アスルのクラブ成長ビジョン

2023以降の展開のため、ホーム愛鷹の照明を改修

2023

202X年  
新スタ

- 10～20年後
- 地域に欠かせない存在として支えられる真の市民クラブ
  - まちなかスタジアムが、賑わい・交流・生活の受け皿に＝まちのいち機能に
  - J2以上をキープ、東部人材を世界へ
  - 年間経営規模：J2平均15億円

平日商業と休日ホーム戦  
⇒日常と非日常がまちなかに



# 2022シーズンスローガン





# Special Thanks!

